

# 最低賃金 1,000 円以上 全国一律制度を目指して



2013.7.11 発行

東京都文京区湯島 2-4-4  
全労連TEL 03-5842-5611

## 愛知 自治体キャラバンの成果

### 扶桑町「最賃引上げ」「公契約法の制定」意見書を可決 6月21日

扶桑町議会は6月21日、「最賃引き上げ、全国一律最賃制の確立」「公契約法の制定」などを求めた2種の意見書について原案を可決しました。これは5月におこなった自治体キャラバンの要請により実現した大きな成果です。

### 242分の座り込み行動

愛労連は、7月3日に台風で延期した「242分座り込み行動」を栄広場で開催。16人の通し参加を含む33人が署名宣伝や政党要請などにとりくみました。CBCテレビが取材に訪れ、夕方のニュース「イッポウ」で報道されました。



スタート集会後、自民・公明・民主・共産の4政党の事務所に代表者4人が要請。文書を手渡し、座り込みのとりくみを伝えました。自民党では愛知県連事務局長が「すべての国民の賃金を上げることが必要」と終始笑顔で対応。

15時半からは愛知地方最賃審議会が開催され、こちらにも座り込んだ参加者から代表5人が傍聴へ。労働局長のあいさつ後、審議会の会長に織田弁護士が選出されました。

## 大阪 審議会傍聴と労働局交渉

6月12日、大阪地方最低賃金審議会総会が開催され、大阪労連からは11名が傍聴しました。労働局長は諮問にあたっての挨拶の中で、「昨年、大阪の最低賃金は14円引き上げて800円となりました。今年も、これまでの経過を踏まえて、中央最低賃金審議会の諮問を踏まえて審議を行っていただきたい。」と述べ、審議会会長も、「制度の主旨に則って進め、最賃の金額を決めていきたい。」と述べるだけで、労働者の実態等はまったく触れられませんでした。赤羽労働者委員からは、「アベノミクスで先行きが読めない、物価の上昇率を言っているが、賃金に反映されているとは思えない。最賃を上げることによって活性化をはかることが大切、経済を発展させていくためにも最賃を引き上げていくことで審議を進めてほしい。」と要望。

6月18日、「最低賃金の時間額1400円以上への引き上げと全国一律最低賃金の法制化を求める労働局交渉」を行い14名が参加。交渉前には、大阪労働局長と大阪府最低賃金審議会会長宛の署名を165団体、2,793筆分提出しました。

大阪労働局としての大阪地方最低賃金審議会に対する対応をたずねると、「大阪労働局としては、今のところ何も考えていない。」と発言。「他県よりも非正規労働者の割合が高く、厳しい労働者の実態を考えれば、大阪労働局としても最賃引き上げの要請を積極的に審議会に働きかけてほしい。」と要請しましたが、「低廉な労働者の改善をはかるセーフティネットとなるよう努めていく。」と言うだけで、これまで同様の対応に参加者からは、「現場の声を聞いても人ごとのようになっている。現場は生活が苦しい。」「低賃金の労働者を踏み台にして経済が成り立っているのはおかしい。」と怒りの声が上がりました。最後に労働局として労働者保護の立場で奮闘してほしいと再度要請し、交渉を終了しました。

## 神奈川 第4次原告団21名が追加提訴

6月26日、第10回裁判直前に第4次原告団21名が追加提訴しました。21人の原告の職種は、タクシー・バスのドライバー、清掃業務、レストランホール係、スーパー勤務、病院事務、保育士、生協委託配送、ガソリンスタンド、トラック運転手、新聞配達などで、男女は約半々。年齢は22歳から77歳まで、各年代に散らばっています。

第10回裁判は、第4次原告を含め、10名が参加し、集まった支援者は約100名。東京や千葉、生協労連中央からも傍聴支援に駆けつけていただき、法廷87席は満席になりました。原告陳述した49歳女性は、持病を抱えながらシングルマザーとして最賃ギリギリで2人の子供との生活を支えてきた有り様を語り、最低賃金の大幅引き上げを訴えました。

次回裁判は、原告側の総括的弁論が行われます。裁判は今後、いよいよ証拠調べの段階に入ります。

## 静岡 静岡地方最低賃金審議会 7月8日

第326回静岡地方最低賃金審議会が開催され、静岡県評からは、5人が傍聴しました。会長は前年と同じ居城舜子さん。新委員は、労使ともに1名ずつ前任者と同じ組織でした。

事務局からは、70ページを超える資料が配付され、最後に、静岡県評からの「要請書」が添付されていました。審議日程が決められ、公開・非公開も決められましたが、例年通りとなり、次回の本審以外は、非公開となりました。非公開の理由は、「議論を確保するため」。また、資料中の、高卒男子初任給が、東京を100とした比較で「102」と高いことに対し、会長は、「なぜでしょうねえ」という発言。賃金室長は「需要と供給の関係です」と回答。

専門部会が設置されることになり、22日が締め切りで専門部委員の公募と意見書の公募もされます。

### —□■ お知らせとお願い

☆最低賃金1000円実現求める個人要請署名と団体要請署名の推進を！

☆最賃Tシャツ(無料S,M,L,XL)とピンバッジが出来ましたので注文してください。

◆各地の取り組みについて、全労連まで、お知らせください。

担当：伊藤、阿部、溝口、平川



## 最低賃金 1000円以上！全国一律最低賃金の実現を！